

2016 年度

海外派遣留学報告書

留学先：ウラジオストク国立経済サービス大学

留学期間：8月30日（火）～12月6日（火）

新潟国際情報大学
国際文学科
学籍番号：21015110
古山七海

目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	留学日誌	8
--	------	---

1 留学先及び留学期間

留学先：ウラジオストク国際経済サービス大学(ВГУЭС)

留学期間：平成 28 年 8 月 30 日（火）～平成 28 年 12 月 5 日（月）

※帰国は 12 月 6 日（火）

2 留学先概要

(1)大学について

ウラジオストク国立経済大学（VSUES）は 1967 年に開学した。中央キャンパスはウラジオストクの市内中心部に位置している。8つの学部があり、学生数は1万5000人を超える大規模な大学である。学士課程は4年間。法科大学院、修士課程、博士課程に進学し、さらに高度な専門教育を受けることも可能。学内には複合スポーツ施設（屋内プールとトレーニング体育館）と芸術スタジオシアターを設えている。また、屋内温室庭園や学内のあちこちに学生用のカフェ・食堂がある。大学専用の学生寮は1200名収容で、ロシア国内出身の学生と外国人留学生が居住している。

ウラジオストク国立経済大学は、ウラジオストクにおける最高水準の教育機関のひとつであり、ロシア連邦教育省からいくつもの賞を受けている。ロシア国内全体の大学格付けでは550大学中63位であり、サービス業の専門家を養成する大学の格付けでは全国1位を誇る。

(2)大学で行われている教育について

ウラジオストク国立経済大学は諸外国の大学と提携している（アメリカ、日本、中国、韓国、ニュージーランド、オランダ、スペイン、ブルガリア、イタリア）。また、アメリカ、ニュージーランド、中国の複数の大学と連携し、卒業時に2つの大学から同時に学士学位を取得できる共同学位（ダブルディグリー）プログラムを実施している。

3 留学目的

今回の留学の目的は、一年間大学で学んできた知識をブラッシュアップし、自ら実践的に活かすことが第一である。さらに、現地の人々とのコミュニケーションを通して自分の語学力がどの程度のものであるかをしっかりと再認識するというこの大きく分けて二つの目的があった。実際ロシア語コースでロシア語に向き合っていた時間は非常に少なくなかなか実践の機会が得られていなかったため、この留学が実践のいい機会になった。現地の言葉に囲まれた生活は新鮮で、母国語がほぼ使えないという環境に身を置くことへの不安も抱えていた。自主的にロシア語に掛けていた時間も少なく、文化圏の違いにも適応できるかどうかといった不安もあるが、ロシアでの生活の中で日本では体験できないようなイベントや交流を通して自分が見えていない広い世界を知ることが出来る。与えられたチャンスは有意義に使わねばならない。

授業は外国人と共に勉学に励むことで自分の力量も積極性も試される。日本人は他国の

人々に比べ極端に発言力が少なく、間違いを恐れている。そんな弱気な自分の打開を図ることが非常に重要であり、課題でもある。

この留学は「交流」と「積極性」を重視し、異国の文化に触れ、自分自身の知識と経験を深めていくことが何よりも大切である。韓国や中国に比べ日本人が極端に少ないロシアで日本の文化や食に対しての関心がまだ薄いため、日本とロシアの結びつきを深める何かを見つけ出すというテーマも秘密裏に設けていた。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後
8	30 (火)	到着	入寮
	31 (水)	学校案内・スーパーで買い物	
9	1 (木)	語学力テスト	
	2 (金)	アンケート記入	健康診断
	3 (土)		
	4 (日)		
	5 (月)	授業開始日	
	6 (火)		
	7 (水)		中央広場 収穫祭・ディナー
	8 (木)		
	9 (金)		
	10 (土)		
	11 (日)	ペリメニ作り	国際映画祭
	12 (月)		
	13 (火)		
	14 (水)		
	15 (木)		
	16 (金)		
	17 (土)		児童館 イベント
18 (日)	サーカス		
19 (月)			

	20 (火)		
	21 (水)		
	22 (木)		
	23 (金)	留学生オリエンテーション	
	24 (土)		ナイトクラブパーティー
	25 (日)	トラ祭り	
	26 (月)		
	27 (火)		
	28 (水)		
	29 (木)		
	30 (金)		
10	1 (土)	ルースキー島	
	2 (日)		
	3 (月)		
	4 (火)		
	5 (水)		
	6 (木)		地理テスト
	7 (金)		
	8 (土)	サファリパーク	
	9 (日)		
	10 (月)		
	11 (火)		
	12 (水)		TOKYO Kawaii
	13 (木)		
	14 (金)	スポーツ大会	
	15 (土)		
	16 (日)	スポーツ大会(極東連邦大学にて)	
	17 (月)		
	18 (火)		shonkel
	19 (水)		学内コンサート・中心街で夕食
	20 (木)		
	21 (金)	ハバロフスク	
	22 (土)		
	23 (日)		

	24(月)		
	25(火)		
	26(水)		Zebra cafe
	27(木)		
	28(金)		
	29(土)		Ю л я と 食 事
	30(日)		
	31(月)		
11	1(火)		
	2(水)		囲碁
	3(木)		
	4(金)	祭日・パーティー	
	5(土)		
	6(日)		
	7(月)		
	8(火)		
	9(水)		
	10(木)		
	11(金)		歴史 小テスト
	12(土)		中国市
	13(日)		
	14(月)		クラシックコンサート
	15(火)		小学生たちと交流会
	16(水)		国際交流イベント
	17(木)		地理 テスト
	18(金)		
	19(土)		バレエ(くるみ割り人形)
	20(日)		
	21(月)		
	22(火)		
	23(水)		潜水艦博物館
	24(木)		
	25(金)		
	26(土)	ボーリング・お宅訪問・トランポリン	

	27(日)		
	28(月)		
	29(火)	ボルシチ作り	
	30(水)		
12	1(木)		
	2(金)		最終試験・カルメン(オペラ)
	3(土)	チョコレート専門店・映画館・ディナー	
	4(日)		読書カフェ
	5(月)	成績授与	
	6(火)		帰国日

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

●語学力テスト

能力別にクラスを振り分けるためのテスト筆記ではなくコンピュータによるもの。

100問の文法問題に加え長文を読んで質問に答える問題もあった。

●アンケート記入・健康診断

すべてロシア語で書かれた学校についてのアンケートを記入。

健康診断は学校内にある病院棟のようなところで心音検査等を受診した。

●収穫祭

中心街の中央広場で開催されていた巨大市。パンを原料にしたドリンクや乳製品、ウラジオストクの土産品等が売られていた。

特設ステージではダンスイベントが行われていた。



●ペリメニ作り

中心街にある「MOMO」というカフェでペリメニ作りを体験した。店員の方の説明を聞き、ジェスチャーを見ながらペリメニを作った。



●国際映画祭

全世界的にも有名な俳優や女優が集うビッグイベント。2016年度はウラジオストクが会場

となった。



●児童館イベント

中心部に程近いところにある児童館で開催された学芸会。ダンスや合唱やマーチングなどを披露してくれた。

屋台なども出ており大変賑わっていた。



●サーカス

大学前のバス停から30分ほど行ったところにある大型商業施設の近くに設置されたサーカステントで行われた。

●留学生オリエンテーション

各国から留学に来た留学生たちがそれぞれロシア人の学生を交えてチームを組み、各チームで協力し合うオリエンテーションを行った。

さまざまな国籍の留学生と交流を図るいい機会になった。



●ナイトクラブパーティー

学生たちが集うダンスイベント。コミュニケーションをしながらダンスを踊るアグレッシブなパーティー。

同じ大学であまり会話したことのない学生とも交流することが出来た。

●トラ祭り

ウラジオストクの中心街で盛大に行われる有名な祭りの一つ。顔に虎のペイントをしたり仮装をした老若男女が集い、パレードや市を開催するイベントであった。町一面がオレンジで溢れとても綺麗な景色が広がっていた。



● ルースキー島

大学前からバスでおよそ 20～30 分ほどで行ける。ルースキー島のほとんどを大学の敷地が占めている。極東連邦大学はルースキー島の中にあるためとても見晴らしがよく休日は親子連れやペット同伴で散歩をしている人が多かった。大学があるため大学が所有するグラウンドには学生がスポーツに打ち込んでいた。海の見晴らしがよく、海水浴をする人も見られた。



● サファリパーク

希望者のみ。一時間ほどかけて大学からバスで向かった。想像よりもはるかに山の奥にあるすべてが屋外のサファリパーク。トラをはじめ、キツネやフクロウなど多くの動物を見ることが出来た。肌寒い気候のため厚着が欠かせない。

● スポーツ大会

この日は授業を予定していたが大学のビッグイベントの為応援に駆け付けた。NUISから一人水泳で参加者がいたため水泳の応援をし、午後はサッカーの試合を観戦した。後日極東連邦大学でバドミントンの試合があり、その応援の為極東連邦大学に足を運び、応援部隊に加わった。



● ハバロフスク

希望者のみ。小旅行的な位置づけであるが、ハバロフスクの景観を目に焼き付け、博物館では英語によるガイドによりロシアの歴史について教わるなど多くのコンテンツを擁していた。マトリョーシカの絵付け体験や大教会の見学もすることが出来た。行き帰りは寝台列車に乗って移動した。



●囲碁

大学内で「囲碁クラブ」を開いている方のもとで囲碁を教わった。日本にいてもなかなか囲碁をする機会がなかったため、ロシア語による説明を受けながら対局をした。

●学内コンサート

NU I Sの学生も一名が参加。

ブグエスの学生が個人や団体にエントリーし、音楽やダンスを披露するイベント。場所は学内にある大ホールで行われた。

●中国市

大学の前からバスで少し行ったところに中国人が営む市が開かれている。建物の中に洋服店が多く立ち並び、それ以外にも化粧品やお土産が売られている。

●クラシックコンサート

オーケストラによる本格的なクラシックコンサート。オペラやバレエなどでも使われる大劇場で行われた。

●小学生たちとの交流会

月曜の4限に受けていた美術の授業で折り紙を折る機会があり、そこで作った折り紙を小学生たちに渡した。

火曜4限に練習したロシアの歌を数曲披露し、小学生たちからも歌を披露してくれた。日

本とロシアとが歌で交流するとてもいい機会になった。



●国際交流イベント

留学を考えている学生のために開かれたイベント。各国がブースを出し、興味を引くようなイベントを実施していた。日本からのブースには折り紙が置いてあり、日本語学科の学生たちが協力して折り紙の指導をしていた。



●バレエ(くるみ割り人形)

クラシックコンサートと同じ会場で開催された。セットが大掛かりで観劇するのに目も耳も楽しませてくれる素晴らしい演目であった。

服装にはそこまで規定が存在しないものの、よそ行きの服が一着二着あると困らない。

●潜水艦博物館

ウラジオストク中心街の海沿いのほうにある博物館。当時使われていた潜水艦をそのまま博物館に改造した。博物館の方のお話を聞き、日本語を勉強しているロシア人の友人に通訳を頼み、当時の戦争についての話などを学ぶいい機会になった。



●ボルシチ作り

授業をして下さっていたエカチェリーナ先生からの提案でグループ5の全員と6のメンバー数名でボルシチを作った。それと並行して特別な日に食べられるというサラダも作った。先生の指導を受ける前から全員で協力して下準備をし、最終的に先生たちも交えて料理をした。より一層グループのメンバーの仲が深まるイベントであった。

●オペラ

クラシックコンサートとバレエと同じ劇場で公演があった。バレエとは違い歌が入っているためストーリーが入ってきやすく、フランス語を用いた演目であるためロシア語の訳を見ながら理解を深めた。迫力があり、バレエとはまた違った世界観が楽しめる。



5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 実践的にロシア語を使うこと

ロシア人の学生と接する機会は多くあったものの、うまい言葉が見つからず黙り込んでしまっていたことから一度ロシア人の学生たちに軽視されてしまったことがあった。積極性に欠けていたため意思疎通が図れず先に帰られてしまったといった出来事を経験し、悔しい思いをしたと同時にコミュニケーションの重要性を痛感した。授業でも韓国人の生徒たちに圧倒され何も言えずにただ黙りこくっていたことで担当の先生方から厳しい叱咤を受けた。こういった経験から自分の恥を捨て、自ら発言していくこと、発信していくことが足りないのだと学ぶことができた。自らの弱さを反省し、授業での発言数は増えていき自分の言いたいことをスムーズに話すことや、生徒や先生たちとの他愛ないやり取りもできるようになった。

ii) 語学力の再認識

クラス振り分けテストの段階ではまだ知識が浅かったため、振り分けられたクラスの学力についていけるかどうかの不安もあった。読む・書く・話す・聞く この四つの要素もそれぞれに未熟で、最初の授業ではなかなか理解するのに骨を折った。授業を受けていく中で辞書を使い、他の生徒と先生とのやり取りを聞くうちに「どう返せばいいのか」「どう聞いたらいいのか」といったヒントを得ることができた。そのため自身の語彙力がいかに低かったのかという事を痛感した。学んできた時間と経験の差からスタ

一ト地点が海外から来た留学生よりも低かったことを目の当たりにしていたが、一か月二か月と月日を重ねていくたびに見えてきたものがあった。成績こそ振るわなくとも「理解できるようになった」という手ごたえを感じる事ができた。寮でお世話になった寮母さんやいろんな方々に「この短期間でよく頑張った」とお褒め頂いたときは自分たちの成長を実感した。

6 反省・課題

2016年度の私たちロシア留学組は入国管理局とのトラブルから、三か月弱で帰国を余儀なくされてしまうというアクシデントに見舞われてしまった。残りの留學生活の中で成果を發表する機会が失われてしまったことは、今でも非常に残念だったと感じている。しかしながら短い三か月という間にたくさんの人に出会い、交流し、ハバロフスクやウラジオストクのあらゆる場所に足を運ぶことが出来、有意義で濃密な時間を過ごすことが出来た。今回の留學で得たものは決してこの先も無駄にすることなく活かしていかなければならない。反省点を挙げるとするならば、互いの国の文化を同室の友人のみならず多くのロシア人と共有すればよかったということだ。将来的にロシアとかかわる機会があるのならば今のうちからより多くの視野を持ちながら勉學に勤しみ、さらに高いレベルで交流を図ることが今後の課題であると考えます。

謝辞

この度、留學を受け入れて下さったウラジオストク国立經濟サービス大学にて懇切丁寧に指導して下さいました先生方・その他大勢の関係者の方々に深く感謝申し上げます。日本人のお世話を担当して下さいましたユリヤさん、スヴェトラナさんを始めグループ5の授業を担当して下さいましたタチアナさん、ナターリヤさん、ヴィクトリアさん、オリガさん、エカチェリーナさんをはじめとする授業に携わって下さった多くの方々に深く感謝致します。

留學をサポートして下さいました神永英輔先生、A・プラーソル先生には感謝するとともに帰国の際にも懸命に対処し動いて下さり、心より感謝申し上げます。

最後に、新潟国際情報大学より頂きました奨学金により、本留學プログラムが実現し、さらに有意義な体験と成長ができたことを心より感謝致します。

付録：留學日誌

留學生活の中での大きなイベントを取り上げて紹介する。

留學は毎度同じようなことがあるとは限らないため参考程度として載せておく。

8月30日 火曜日 午後
出発 成田空港
担当 神永英輔先生、A・プラーソル先生

内容

- ・新潟駅から東京駅まで新幹線で移動、神永先生と合流(前乗りの生徒は成田空港合流)
- ・成田空港までバスで移動
- ・成田空港からウラジオストクまで飛行機で移動
- ・ウラジオストクで入国審査
- ・ウラジオストクの空港から大学までバスで移動

移動の所感

飛行機で約 2 時間の移動。空港で入国審査を済ませ大学までバスで移動した。寮に入りその日は割り振られた部屋で過ごした。

今後韓国人と同居生活になるため緊張もあるが、語学を活かして積極的に活動していきたい。

8月31日 水曜日

校内見学・オリエンテーション 9:00～

担当 ターニャさん、ナージャさん、A・プラーソル先生

内容

- ・ブグエスの生徒による校内見学
- ・日本人留学生のお世話を下さる先生方と合流
- ・学生生活についての注意事項と質疑応答
- ・証明写真撮り
- ・スーパーの見学、買い物

オリエンテーションの内容

学生寮やその周辺での規則として、中心街へ外出するときは2人以上で行動することやパスポートを常に携帯することなどの説明を受けた。

宣誓書のような書類の記入の説明が行われた。

9月1日 木曜日

図書館の見学・クラス振り分けテスト・寮のシーツ交換等説明

内容

- ・図書館に設置されたコンピュータの使用方法レクチャー
- ・コンピュータを使ったクラス振り分けテスト
- ・寮の中にあるシーツ交換の説明と洗濯についての説明

内容および所感

コンピュータももちろん全てがロシア語のため不慣れなところも多かったが担当の先生方が優しく教えて下さったおかげでなんとか操作することが出来た。

振り分けテストは 100 問ほどある文法問題と長文問題を解くものであったが習っていない文法や単語が多く苦勞した。

寮では週に一度シーツ交換をしなければならないため、シーツ交換を担当して下さる寮母さんへの挨拶と名前記入を行い、洗濯場を担当している方から使用方法についてを教えて頂いた。

9月2日 金曜日
アンケート記入・健康診断・Wi-Fi 接続の説明・ブリヌイ専門店
内容 ・これからの留学生活の上でロシアの法にも関わるアンケートを記入 ・心音検査等の健康診断を受診 ・Wi-Fi 接続 ・中心街のブリヌイ専門店「ウフティブリン」にて食事

所感

日本と違った環境での生活になるため、ロシアの規則に従わねばならないという自覚を得た。

学校内の医療施設が充実していたため、受診する内容としては多かった。

日本人留学生担当の先生と一緒にロシアに来て初めてブリヌイ(ロシアのクレープ)を堪能した。

この日初めてバスに乗ったがバスの路線が多く覚えるのに苦勞した。

9月4日 日曜日 午後
中心街へ買い物
引率 Nadya さん
内容 ・ショッピングモールで昼食 ・terranova(洋服店)で買い物

所感

動ける範囲が少ないので日本語を勉強している学生と一緒に中心街へ買い物に出かけた。

中心街は人も多くまだ勝手が分からないため色々な場所を案内してもらい、今後出かけるうえで知るべきことを沢山学べた。

昼食を取る際、小銭があまりなかったため食べたかったものが食べれなかったため、小銭はあらかじめ準備しておくべきだと痛感した。

9月5日 月曜日
授業開始日 聞き取り・文法 / 午後は日本人のみの授業
担当教員 タチアナ先生・ヴィクトリア先生・スヴェトラナ先生
内容 一限：聞き取りの授業について簡単な説明。自己紹介等をしながら緊張をほぐすコミュニケーション 二限：簡単な単語を使ったオリエンテーリング。

授業の所感

初めての授業でクラスのメンバーと顔合わせをした。韓国人と同じクラスになったがロシア語を勉強している年数は長く年上が多かったため、力の差を感じた。

9月7日 水曜日 午後
収穫祭・遊園地
ベロニカ・サイモン(ロシア人学生)
内容 ・中心街の中央広場にておこなわれていた収穫祭に参加。ダンスや歌の催しと多くの屋台が並ぶ盛大なイベント。 ・中心街から少し離れた海沿いの遊歩道の間あたりには建設されている遊園地を満喫 ・全員での写真撮影 ・中心街にあるビルに併設されているバイキングに立ち寄り日本人留学生8人とロシア人学生2人で食事。

所感

この日はロシア人の学生に連れられ中心街から少し離れた海沿いを散歩した。収穫祭のイベントではパンを原料にしたドリンクや有名なお茶などを堪能し、催しのあちこちで写真撮影をした。

ロシア人は気さくな方が多く、知らない人同士でも写真を撮ることがしばしばあった。ロシア人のアクティブさにはとても驚いた。

9月11日 日曜日 午前
場所：MOMO 内容：ペリメニ作り
引率：スヴェトラーナ先生
内容 ・ペリメニ作り

具体的内容および所感

中心街にある「MOMO」というカフェで店員の方の指示を受けながら一人10個ずつペリメニを作るというもの。生地を伸ばして丸い型で押し、皮を作った後用意してくださったタネを包む。それを店員の方に茹でてもらうという流れ。肉をつめたペリメニとリンゴをつめたペリメニの二種類を作った。モルスというコンポートのドリンクも頂いた。

自分で作ったというだけあり、とても満足のいくものになり有意義な時間が過ごせた。

9月11日 日曜日 午後
国際映画祭
内容 ・海外の有名な映画監督、男優、女優が集う映画の祭典 ・中心街にある商業施設のフードコートで夕食

所感

バレエなどで使われるウラジオストクの劇場がある建物の外で開催された。2016年度の開催地がウラジオストクであったためブルーカーペットの周りには人で溢れていた。各国著名人が集まるイベントであったため正装して来場している方も多くいた。目の前で著名人を見ることが出来、大変貴重な機会となった。

9月17日 土曜日
児童館のイベント
引率：スヴェトラーナ先生
内容 ・児童館の生徒たちによるダンスや歌の発表会

所感

まだロシアの歌は練習をはじめたばかりでどんなものがあるのか知らなかったがロシ

アの童謡であったり踊りであったり、小学生の生徒たちが一生懸命練習してきたであろう成果を目にすることが出来た。屋台等も出ていて賑わいを見せていた。

保護者や兄弟たちが見守る中で披露している一人一人がとても生き生きとしており、元気を貰えた。

9月18日 日曜日
サーカス
引率：スヴェトラナ先生
内容 ・サーカスに隣接した大型ショッピングモール内にて軽食 ・サーカス 鑑賞(一部・二部)

所感

本場のサーカスを観るいい機会であった。サーカステントの中には子供がとても多く賑わいを見せていた。

本編もすべてロシア語で行われたため理解するのはとても難しかったが、目でも楽しめる内容であったため最後まで楽しむことが出来た。

開演前に軽食を食べていたところで一人の気さくな男性に話しかけられ、少し交流をすることが出来た。

9月23日 金曜日
留学生オリエンテーション
内容 ・ロシア人+留学生でチームを組み、チームごとに回るオリエンテーリング (文字の並べ替え、一人一描の絵リレー、紐くぐり、アクション付き自己紹介、ボール運び、石造の動物当てゲーム等) ・写真撮影

具体的内容および所感

留学生と本格的な交流が図れる機会であった。この日初めて電車に乗り、海側の広い公園の方まで足を伸ばした。チーム内にはロシア人2名、中国人3名、韓国人9名、アメリカ人1名、日本人8名で構成されていた。

オリエンテーションでは各ミッションの担当を下された方々があたたかく迎え入れ、そして丁寧に説明を下されたおかげでスムーズな進行が出来た。

ミッションの中でも特に印象に残っているのがストローを親指でそれぞれ押し当ててバランスを保ちながら円になりそのストローを落とさないようにくぐるというミッション。一見簡単なように見えて隣の人と息と力加減を合わせなければならないためとても難しかった。

中国人や韓国人の留学生とも普段交流がなかったが自己紹介や写真撮影などを通して交流が出来、とても有意義な時間を過ごせた。

9月24日 土曜日
ディナー ・ ナイトクラブパーティー
内容 ・ ロシアの伝統料理が味わえるレストランで夕食 ・ 学生限定のダンスイベントに参加

所感

ロシア人の学生と一緒に散歩をしながらロシアの郷土料理が味わえるレストランで食事をした。ロシアの郷土料理であるボルシチを堪能した。

ボルシチは作る店や家庭によって味が違うため、食べ比べてみるのも面白い。今回店で食べたボルシチはすこし酸味が強い印象だった。

その後移動してダンスイベントが行われる会場へ行き、さまざまな学生たちとダンスを踊った。言葉はなくとも踊りで交流をして楽しい時間を過ごすことが出来た。こういったダンスイベントは何度か行われたが都合が合わずこの一回きりとなってしまった。

9月25日 日曜日
トラ祭り
内容 ・ 学校や団体ごとに行われるパレードに参加 ・ フェイスペイントを体験 ・ 写真撮影

所感

街をあげてのビッグイベントに参加するのは初めてだったため、とても新鮮だった。当初の予定ではなかったがアルバータ通りにある本屋の一角で無料のフェイスペイントをしてもらい、街中に繰り出した。パレードに参加したが、周りの学生たちは風船や看板、手の形のボードを持って行進していた。他の団体も多くが道路を闊歩し、街

中がオレンジに染まった景色を見てとても感動した。ブグェスに留学している留学生同士で集まって記念写真を撮った。イベント終わりには海近くの遊歩道を散歩した。晴れていたの景色も良好だった。

10月1日 土曜日
引率：ナージャさん
内容 ・ルースキー島を散歩 ・写真撮影/ビデオ撮影

所感

ルースキー島と言うからには行きにくい場所にあるのかと思っていたが、バスで数十分で到着するところにあっただけで意外だった。

島のほとんどが大学の敷地のため、大学見学をしているような感覚であった。数年前の先輩方はルースキー島の中にある極東連邦大学に留学していたことを聞いたが、ブグェスとはかなり違った雰囲気を持っていたので新鮮であった。海が広がっているの空気も澄み、自然にあふれているので散歩するにはとても適した場所であった。写真撮影やビデオ撮影が捗り、景色の写真を沢山撮ることが出来た。

10月6日 木曜日 午後
13:10~15:00
担当：オリガ先生
内容 ・地理に関するテストを受験

所感

地理の授業が一番記憶すべき情報が多いため、とても苦労した。産業についての単語や地名の単語が長いため、スペルを覚えるのにも苦労した。毎回の授業でメモをとるが復習を重ねなければ覚えられないため、復習は綿密に行うべきであると痛感した。今回のテストでは難易度は高くなかったものの、次回行なわれるテストでは筆記になるため入念な準備をするようにと言われた。次回のテストではいい成績をおさめられるようにしたい。

10月8日 土曜日

引率：スヴェトラーナ先生・エカチェリーナ先生

内容

- ・学校から出るバスでサファリパークへ移動
- ・サファリパーク内見学

所感

バスで一時間ほどかけて学校からサファリパークへ移動した。遠出をするのは初めてだったため、移動時間がとても長く感じた。

想像していたサファリパークとは違い、山の奥の方にあつたためとても自然にあふれた場所であった。山奥のほうと学校の方とでは寒暖差があるため薄着で行ったが山の方はとても寒く、厚着していけばよかったと後悔した。

敷地がとても広がったため回るのにも時間を要したが虎やキツネなどそのほかにも珍しい動物を見ることが出来た。

園内で解説をしてくださったアレクセイさん引率のもと回ったが、解説も分からない単語がおおく聞き取れる部分はほんの少しであったが理解しようという意識がはたらいたのでいい勉強になった。

10月12日 水曜日 午後

ツェントル(中心街)

内容

- ・中心街にてカフェ探索

所感

バスに乗って中心街へ出る事にも少しずつ慣れ、同室の NUIS の学生たちと中心街で夕食を食べに行った。クレバーハウスというショッピングモールのバス乗り場から少し歩いたところにある「TOKYOawaii」に行ってきた。日本風の「可愛い」を追究したレストランであったが内装はゴージャスと可愛いものを合わせたような印象だった。店員の方たちは可愛いコスチュームに身を包んでいた。料理は寿司などもあったがロシアで生魚を食べるのは危険だと言われていたため、炒飯を食べた。ロシアにはまだそこまで日本の「カワイイ文化」は浸透していないように感じたが、日本料理の店も多く見られたため、この先日本の文化はさらにロシアに浸透していくであろう。

10月14日 金曜日

スポーツ大会

Champion(学校内のスポーツ施設)
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳に出場する NUIS の学生を応援 ・昼食をとるため学内のカフェで休息 ・午後からサッカー観戦

所感

学校をあげての大きなスポーツイベント。授業日であったが先生方が配慮して下さり、一日がかりで応援に加わった。

水泳部門では NUIS から一名エントリーしていたため美術の授業で準備したポスターを持って応援に臨んだ。

見事競技で1位を獲得し、その場は盛り上がりを見せた。

午後からはサッカーの試合を見学した。ブグエスの敷地内にあるサッカーコート二面を使用して行われた。同じグループの韓国人留学生が出場していたため、担当の先生方と一丸になって声をあげて応援した。

サッカーの試合前に開会式が行われたが、チアリーディングやレスリングのデモンストラーション、空手の披露などが行われ、会場を盛り上げてくれた。見ごたえのある開会式とサッカーゲームでとてもエキサイティングなイベントとなった。

10月16日 日曜日 午後
場所：極東連邦大学
引率：スヴェトラナ先生
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスで移動 ・バドミントンの試合観戦+応援 ・学内のカフェで食事

所感

この日初めて極東連邦大学の建物内に入ることが出来た。大学の規模も大きく、綺麗な校舎であった。競技は午前がバドミントンで午後はバスケットボールというスケジュールになっていたが閉会式まで居ることは出来ず、午前のバドミントンの試合のみを観戦した。

競技に参加している留学生を他国の留学生と一緒に応援した。バドミントンの試合も白熱し、応援にも力が入った。

試合が終わり、学内のカフェで食事を済ませ、バスに乗って帰宅した。以前行った時

よりもルースキー島を満喫できた。

10月18日 火曜日 午後
ツェントル(中心街) 場所：Shonkel(ハンバーガーショップ)
内容 ・ 中心街を散歩 ・ ハンバーガーショップで夕食

所感

勉強の息抜きに同室の日本人学生と夕食を食べに出かけた。行ったことのなかった隠れ家ハンバーガーショップを訪れた。

店内はとても小さくこじんまりとしているが雰囲気の良い洒落た店だった。黒いバンズの中にステーキが挟まっているハンバーガーを堪能した。

店員の方が日本人だと気付いて下さり、店を後にするとき「バイバイ」と手を振って下さった。ロシアにいと基本日本人だとは思われず中国人や韓国人に間違われることが多かったため、気づいてもらえただけとはいえ嬉しかった。

10月19日 水曜日 午後
学内コンサート・日本人留学生のみの食事会
研修内容 ・ 学内コンサート鑑賞 ・ ビデオ撮影 ・ 中心街のレストランで日本人留学生

内容と所感

学内で行われるコンサート。ブグエスの生徒がそれぞれエントリーし、個人もしくは団体が歌や踊り、楽器演奏を披露するイベントであった。NUISからも一名ギターの弾き語りで出場した。その演奏をビデオカメラに収めた。コンサートの会場は学校内にある大劇場で行われた。客席数の多さもさることながら照明やスピーカーの設備も充実した本格的なステージがあった。留学生も在校生もそれぞれ得意分野を披露していたがとても心揺さぶられるステージであった。

コンサートが終了した後、関西から来た日本人留学生の方と中心街にあるペリメニが有名なレストランで夕食をとった。互いの大学の情報交換であったり地域の気候であったりとさまざまな話に花を咲かせた。とても充実した一日になった。

▼ハバロフスクのスケジュールに関しては分けずに流れを説明することとする

10月21日 金曜日 ～ 10月23日 日曜日
ハバロフスク
引率：スヴェトラナ先生・オリガ先生 参加者：日本人5名、韓国人5名
<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金曜夜 夜行列車にて移動 ・土曜朝 ハバロフスク駅到着 駅舎内で朝食をとる ・広場にて説明を聞きながら散歩 ・バスで移動し博物館を見学 ・その後郷土料理が味わえるレストランにて昼食 ・バスで移動したのち大教会内を見学 ・大教会の付近にある見晴らしのいい撮影スポットにて写真撮影 ・マトリョーシカの絵付け体験 ・民族資料館を見学 ・お土産選び ・土曜夜 夜行列車にてウラジオストクまで移動 ・日曜朝 ウラジオストク駅に到着、各自解散(寮へ帰宅)

具体的内容および所感

出発日の金曜日は風呂も準備もすべて済ませ、夜6時に集合。集合した後ウラジオストク駅から夜行列車に乗ってハバロフスクまで移動をした。夜行列車は初めて乗ったが車内は二段ベッドが向かい合う形で二つつけられており、通路を挟んでもう二つ上と下にベッドが分かれていたので1ブロック6人まで乗車が可能であった。移動時間は音楽を聴いたり話をしたり勉強したりお菓子を食べたりと自由に過ごした。就寝時間になると照明が消え、寝静まるが寝た場所が入口に近かったこと、車内の温度や人の気配が少し気になったが問題なく寝ることが出来た。

翌朝は各車両に備えてあるトイレにならんで歯磨きをして着替えを行い、ハバロフスク駅に降り立った。金曜の時点で朝食何を食べるかを注文してあったため、朝は駅舎内のレストランで食事をし、その後は英語が堪能なロシア人ガイドの方が英語で解説をしてくださり、そのガイドに沿ってハバロフスクの観光をした。

一日スケジュールが詰まっていたためきばきとした行動が求められた。

ハバロフスクでもとても大きな広場でたくさんの鳩とふれあい、写真撮影をした。その後遊歩道を歩きながらガイドの方の説明を聞き、その後は博物館へ移動してロシアの歴史や太古の昔に存在していた動物や民族のお話を聞いた。英語でも理解しにくい部分はあったがなんとか聞き取れるところは理解しようと努めた。

昼はロシアの郷土料理が味わえる、昔は兵士が食事をしたというレストランで食事を

した。

昼を済ませた後バスでまた移動し、大教会がある場所に行った。そこは第二次世界大戦で命を落とした戦士たちの名前が刻まれた石碑や石像がある場所で、そこに建設されていた大教会内を見学した。写真撮影禁止の場所だったため、念入りに鑑賞し目に焼き付けた。

夕方になった頃またバス移動を経て街中の土産物店にてマトリョーシカの絵付け体験を行った。マトリョーシカに思い思いに色をつけ最後には全員で作品を持って写真撮影をした。

最後に訪れた場所は民族資料館へ足を運び、民族がどのように生活していたか、闘いの時にはどう身を守っていたかなどを解説していただいた。自分が生まれていない頃の歴史や文化を知るのはとても貴重でありためになるのでとても有意義な学習ができた。

ハバロフスクを後にするのはとても惜しかったが、何かの折にまた訪れたい。

10月26日 水曜日 午後
中心街 場所：ZEBRA CAFE
内容 ・日本人留学生とアルバータ通りにあるカフェにて食事

所感

ツェントル(中心街)への外出も慣れてきたころだったためカフェ探しをするようになった。中心街にはたくさんのカフェが立ち並んでいるため、新しい店を開拓するのも楽しみの一つといえる。

アルバータ通りはよく利用していたが、まだいったことのなかったカフェに入り、ティータイムを楽しんだ。

個人経営のような小さなカフェであったが店員の方もとても親切に対応して下さった。ロシア語に不慣れであるように見えたのか英語のメニューを提示するなど心配りが見られ、とても感動した。

新しい店を開拓してみるのも普段の勉強漬けの生活から解放するいい機会であるので今後もこういった機会を大事にしたい。

10月29日 土曜日 午後
友人と食事・買い物 /
内容

- ・ウフティブリンにて昼食
- ・ROCHER(化粧品店)にてリップクリームを購入
- ・Л I A K O M K A でパンを購入
- ・Svoyfete で夕食

所感

午後から急遽予定を決め、ウフティブリンにブリヌイを食べに出かけた。何度か訪れているため注文もとてもスムーズに行えるようになった。

ロシアは美容に対しての意識が高いため化粧品店が多い。リップクリームを購入した。その後行ったことのない通りを歩いているとパン屋を発見したので立ち寄ったが驚くのは値段で、購入したパンのボリュームを裏切る破格の 50 ルーブル(日本円にしておよそ 75 円)だったことだ。ロシアに来て何度も感じていることであるが価格の安さには驚かされる。

最後に立ち寄った少し敷居の高いレストランでボルシチを食べた。以前食べたボルシチよりもマイルドで食べやすかった。店によって味付けが違うため食べるたびの楽しみがあるのも嬉しい。店員の方へ会計の声かけをするのに少々戸惑ったがなんとか支払いを済ませることが出来た。

11月2日 水曜日 午後
囲碁クラブに参加
引率：スヴェトラーナ先生
内容 ・囲碁打ち体験

所感

4限が終わった後、スヴェトラーナ先生引率のもと囲碁クラブに参加した。担当の方が丁寧に説明をして下さり、そのおかげでルールを理解し、実践に臨めた。日本人でも難しい囲碁のルールをロシアの方から教わるとは驚きだが自国の人間ですら触れたことのない日本の文化を体験するいい機会であった。とても戦略に頭を使うので苦戦したが楽しんで対局することが出来た。

11月4日 金曜日
祝日 (そのため同室のメンバーでパーティーを開催)
内容 ・中心街の生活用品店で道具を調達

- ・夕食に間に合うよう協力してパーティーの準備
- ・ロシア語の歌を聴いたりしながら食事

所感

ロシアでは11月4日は祝日であるため授業はなし。民族統一の日ということで、壁のあった民族同士を統一した栄誉を称え祝日になっている。この日は同室の韓国人が外出して不在だったため、午前は中心街に行き飾り付けのモールや紙皿を買い込み、スーパーで食料を調達した。

留学生活も折り返し地点を過ぎ、これからもうひと踏ん張りするという決意を込めて開催した。日本から持って行ったカレー粉を使ってカレーを作った。ロシアの曲を聴いたり日本の歌を懐かしんだりしながら食事をして決意を新たにできた日であった。

11月11日 金曜日 午後
歴史の小テスト
四限 13:10~15:00
担当: エカチェリーナ先生
内容 ・ロシアの歴史に関するテスト (皇帝の名前・戦争が起きた年代や戦争の名前など)

所感

基本ロシア語での授業になるため、順を追って説明を聞くのだが理解できない部分もあるためノートが非常に重要な意味を持つてくる。

パワーポイントを使って説明が行われるので内容を板書しつつ先生の解説をメモするといった次第で授業が進められる。

今回はどの程度覚えているかのテストのため、難易度はそこまで高くなかったものの、地名や戦争が起きた年代等が覚えにくいため、

今後の授業では予習復習をしっかりと行うべきであると痛感した。

特に歴史は流れが大事なので覚えるときは効率のいい覚え方が出来るようノートを工夫してとるべきである。

11月12日 土曜日 午後
中国市
引率: ナージャさん
内容 ・バスに乗り移動

・中国市を見て回る

所感

韓国人留学生のすすめでロシア人の友人と一緒に中国市に出かけた。中国市というのは中国人が露店を開き、洋服や土産物などを販売している市場であるのだが、想像していたよりも新しく、洋服店が多かった。買い物はしなかったが様々な店を見て回った。その後はバスに乗って中心街まで戻り、各自解散となった。

11月14日 月曜日 夜

クラシックコンサート 場所：Приморская сцена

19:00～21:00

引率：スヴェトラーナ先生

内容

- ・バスに乗って劇場まで移動
- ・生のオーケストラによるクラシックコンサートを鑑賞

所感

国際映画祭が行われた会場の中にある劇場で行われた。劇場内にはコートなどを持ち込めないため、館内にあるコート預り所でコートやマフラーを預けて番号札を貰うシステムをとっていた。会場の中は多くの人でにぎわっていた。ドレスコードの指定はなかったものの正装してきている人も多く見られた。

コンサートは中国との共同企画であったために中国の楽曲も数曲披露された。普段聞きなれないクラシックの音楽を耳に触れさせたことでとてもリラックスできる時間であった。生のオーケストラの演奏に聴き入り、今まであまり聴かなかったクラシックの分野に興味があった。

11月15日 火曜日 午後

ВГУЭС 小学部棟

引率：スヴェトラーナ先生

内容

- ・小学生たちと交流、自己紹介
- ・小学生たちによる歌の発表
- ・日本人留学生による歌の発表
- ・日本人留学生から小学生たちへ折り紙のプレゼント

- ・小学生たちによるプレゼントを受け取る
- ・写真撮影

具体的内容および所感

今日の午後は音楽の授業の代わりとしてロシアの小学生たちと交流する機会があった。今まで音楽の授業で練習してきた歌を小学生たちの前で披露した。最初は互いの自己紹介を行い、その後で代表の女の子が一人で歌を披露してくれた。今まで練習してきたロシアの民謡を二曲ほどロシア語で歌い、一曲は日本語で披露した。緊張したもの小学生の生徒たちも喜んでくれていた。歌の披露の後聴いたことのないロシアの民謡を二曲ほど披露してもらった。全てのコンテンツを終えてこの時間を共有してくれた小学生の生徒たちに美術の時間で作った折り紙をプレゼントすると喜んでもらってくれた。はしゃいで折り紙で遊んでいる姿はとても可愛らしかった。作った甲斐があった。

子供達と接する機会がほとんどなかったため新鮮であった。こういった機会を設けて頂いたことを本当に感謝したい。

11月16日 水曜日 午後
国際交流イベント
内容 <ul style="list-style-type: none"> ・留学を考えている生徒のための説明会 ・各国のブースごとに文化を紹介 ・各国の学生同士の交流 ・写真撮影

所感

授業が入っていなかったため参加は出来なかったが留学を考えている生徒に向けたイベントブースが立ち並び大きな賑わいを見せていた。

日本のブースではロシア人の学生たちが着物を着たり折り紙を教えたりしていた。

その場にいたロシア人の学生とロシア語と英語を交えながら交流をした。

海外に対しての興味を引くイベントとしてはとても盛り上がっているように見えたので、ロシアの日本に対しての関心をもっと上がっていくことを期待したい。

11月17日 木曜日 午後
地理テスト(筆記) 13:10-15:30

担当：オリガ先生
内容 ・地理の筆記テスト

所感

地理の授業では様々な分野を扱った。特に念入りに学習した分野は「動物」と「工業」であったが、何度復習してもなかなか覚えられずスペルミスも多かった。メモを書いて最後の最後まで粘って覚えたものの、実力が発揮できなかった。

先生からの指摘でもっと学習に力を入れるべきだと思った。最終試験までには完璧に仕上げられるようにしたい。

11月19日 土曜日 夜
バレエ鑑賞 題目：くるみ割り人形 / 場所：Приморская сцена
引率：スヴェトラナ先生
内容 ・バスに乗って劇場まで移動 ・バレエ鑑賞 ・タクシーに乗って寮へ帰宅

所感

以前観に行ったコンサートで使用された会場での上演だった。バレエを生で観るのは生まれて初めてであったので目に映る光景すべてが新鮮であった。バレエダンサーが舞台上で踊る中、生演奏のオーケストラはステージ目の奈落のようなスペースで演奏していた。想像していたよりも舞台セットが豪華で、観ている側の好奇心を刺激してくるような演出であった。台詞がないため舞台上の踊りと音楽で内容を掴まなければならないため、途中で内容を見失ってしまうこともあったがとても満足できる内容であった。日本にいるとなかなか味わえない舞台をととても安い値段で観ることが出来た。

帰りはバスの時間がなかったためタクシーに乗って帰宅した。

11月23日 水曜日 午後
潜水艦博物館見学
見学料：100 ルーブル
引率：スヴェトラナ先生・ベロニカさん

内容

- ・ 中心街までバスで移動、バス停からは徒歩で移動
- ・ 潜水艦博物館を見学
- ・ 写真撮影

所感

授業終わりに先生引率のもと、海沿いに設置されている本物の潜水艦を改造して作られた潜水艦博物館を見学した。職員の方が説明をして下さり、日本語を勉強しているベロニカさんに通訳をしてもらいながら説明を聞いた。潜水艦がつくられ、そして戦争に使われていた時代のロシアの様子や船員たちの生活などを聞き、そして実際に使われていた軍服や設計図やミサイルのレプリカなどを見学した。普段では味わうことの出来ない経験が出来、歴史を学べてとても勉強になった。出口で土産物を売っている方と日本語を交えて交流し、とても楽しい見学ができた。

11月26日 土曜日

ロシアの学生とボーリング・トランポリン・お宅訪問

内容

- ・ バスに乗ってボーリング場へ移動
- ・ ボーリングを楽しむ
- ・ 友人のアパートを訪問
- ・ 友人の車でトランポリン施設まで移動
- ・ トランポリンを楽しむ
- ・ 友人の車で大学前まで送ってもらい帰宅

所感

この日初めてロシア人の友人 3 名と遊びに出かけた。なかなか交流する機会がなかったため、とてもいい機会になった。

ボーリングを 2 ゲーム行ったあと、トランポリンの予約まで時間が余ったため、歩いて日本語を勉強しているアレクセイのお宅に訪問した。

ロシアのアパートを訪ねるのはもちろん初めてであったが日本と比較すると部屋数も面積も格段に大きく、部屋のすべてが温かいため暖房が充実していた。お茶とお菓子をご馳走になり、ギターやピアノを弾いて楽しんだ。アレクセイの自宅から車でトランポリンの施設へ移動した。

トランポリンの施設は時間制限つきでボールを使ったり、エクササイズをしたり出来る施設だった。インストラクターによる説明と手続きを済ませた後 1 時間ほど楽しんだ。体を使ったコミュニケーションの形もなかなか面白く、写真を撮ったり動画を撮りなが

ら遊んだ。
帰りもアレクセイの車に乗せてもらい、寮まで送ってもらった。

11月29日 火曜日 午後
ボルシチ作り
担当：エカチェリーナ先生・スヴェトラナ先生
内容 ・ボルシチとサラダ作り

所感

まずはグループ 5 の生徒 6 名で寮の中にある共同キッチンで具材を切って鍋で煮るところから始まった。しかし、寮で生活しているロシア人の生徒に「ここは部屋ごとに使用者が決まっているから立ち退きなさい」と指摘を受けた。話を聞くと、共同のキッチンは使うことが許されている人以外の使用は禁止されているとのことであった。それから留学生がそれぞれ使っている部屋のキッチンの一つに集まり、作業をした。サラダは具材を細かく切ってマヨネーズで和えるだけの簡単な料理であったためスムーズに進んだ。

もう少しで完成というところで先生方が到着し、ボルシチの味付けの仕方を教えて頂いた。先生方が持ってこられた黒パンとスメタナをボルシチのお共にした。一生懸命作ったボルシチを先生方にも褒めてもらえてうれしかった。食べながら韓国人留学生たちとも交流をすることが出来たのでとても楽しい食事になった。

12月1日 木曜日 18:00～
担当：ユリヤ先生
内容 ・敬語を学ぶ ・留学生と日本語学科の学生たちとで写真撮影

所感

日本語を勉強している日本語学科の学生の授業を見学した。今回取り扱った単元は「敬語」であったが、とても苦戦していた。

日本人ですら学ぶのには苦勞する「敬語」を理解するのに果敢に挑戦し続けている学生たちのひたむきさを感じた。

日本語の難しい部分を日本人側が訂正して修正していく形で授業は進められる。

日本人の感覚とロシア人の感覚はそれぞれ違い、観点も違うので鋭い質問が飛び交うこともしばしばあったが、

国によつての受け取り方・理解の違いには驚かされた。

こういった異文化、異なる言語を掘り下げていくことがより互いの国の異文化交流に繋がって、将来的には相乗効果で互いの国の関係を見直していくいい機会になるだろう。

12月2日 金曜日 夜
オペラ鑑賞 題目：カルメン / 場所：Приморская сцена
引率：スヴェトラナ先生・エカチェリーナ先生
内容 ・バスに乗って劇場まで移動 ・オペラ鑑賞

所感

コンサート・バレエに続き、劇場でオペラ鑑賞をした。この日が留学で最後の劇場になるので少しさみしかった。

オペラはすべてフランス語での上演だったため、ロシア語の字幕を追うという形で進められていったが、まだ語彙力が乏しいため理解するには時間を要した。バレエと比較すると歌ありきのため感情がとても感じ取りやすく、セットも大掛かりであったため迫力のあるオペラを楽しむことが出来た。生のオペラを観るのはバレエ同様に初めての経験だったため、とても感動した。最後のキャストが勢ぞろいして出てくるシーンでは観客一同がスタンディングオベーションをして最高の盛り上がりを見せていた。この光景をもう目にするチャンスがないのかと思ったら悲しかったが最後の最後で素晴らしい芸術鑑賞が出来て良かった。

12月3日 土曜日
引率：ユリヤ先生・アレクセイさん
内容 ・二組に分かれ車で中心街の方まで移動

- ・プリモールスキーコンジューチェル(チョコレート工場の直売店)で土産選び
- ・ブティックにてロシアで有名なストールを購入(希望者のみ)
- ・ロシア土産の専門店でもトリョーシカを購入
- ・映画館にて「ファンタスティックビースト」を鑑賞
- ・ чай ханаにてディナー
- ・海辺の灯台付近を散歩

所感

留学の期間が短くなったと告げられ、行きたいところをオーダーし、ユリヤ先生に案内してもらいながら一日満喫することが出来た。

チョコレート直売店では有名な工場の美味しいチョコレートが沢山並んでおり、何を買おうか迷ったがそれぞれが思い思いに家族や友人にプレゼントするものを選び、無事買うことが出来た。

ロシアは繊維工業も有名なため、ストールを土産として買う者も多い。数名は家族に土産として購入していた。

家族にマトリョーシカを頼まれていたので猫の絵が描いてあるマトリョーシカを購入した。

映画館には車で移動した。始まる前に **Loading** という日本のスターバックスコーヒーのようなメジャーなコーヒーショップでココアを注文し、シアター内で飲みながら鑑賞した。英語で作られた作品をロシア語吹き替えで観るのは初めてだったため、とても新鮮に感じた。

夕食は「 Чай хана」というレストランへ行き、それぞれスープや肉料理、ジャガイモ料理を注文して交流しながら食事をした。

今日一日で先生たちとの仲も深まったが、もうすぐ帰らねばならないことを実感した。最後に訪れた灯台の付近はとても寒かったが新鮮な海の香りを楽しむことが出来て良かった。

12月4日 日曜日 午後
読書カフェ
引率：ナージャさん
内容 ・読書カフェにてロシアの本を読む

所感

バスで数十分行ったところにある建物の中にある図書館でドリンクを飲みながら本を

読んだ。カフェはこぢんまりとしているが図書館全体の雰囲気を壊さないようなお洒落なつくりになっていた。絵本が多く、子供でも親しみやすい設備になっていた。勿論本を読むだけの場所ではなく、絵を描いたり勉強をしたりしている利用客も多かった。静かなのでリラックスしたいときに来れば満喫できる。

図書館に置いてあった日本を特集したブックレットを読んだが、写真を沢山用いて細かな説明が付けられており、こういったところから日本が他国に浸透していけば国際的な文化の交流が図れることであろう。

ロシアの本に触れることは少なかったので有意義で楽しい時間が過ごせた。

12月5日 月曜日
成績授与
内容 成績授与・スライドショー鑑賞

所感

最終試験を受け、確定した成績証書の授与が行われた。急に決まった帰国で最終試験の準備をする間もなく受けたテストであったが大健闘の結果となった。成績証書の他にも学校オリジナルのタンブラーやポストカード等をいただき、大変感激した。先生方が作って下さったスライドショーにはたくさんの思い出が詰まっており、泣いてしまった。温かく留学を受け入れ、そして授業では優しく、時には厳しく教えて下さり、大変感謝してもしきれないほどお世話になった。機会があればまた来訪してロシア語に励みたいと強く思った。こういった形で去ることになるのは残念なことだが、先生方の指導を沢山受けることが出来て良かった。

12月6日 火曜日
帰国日
内容 ・身支度を終え、寮入口前のエントランス集合 ・先生方と別れの挨拶 ・大学のバスに乗り空港へ向かう ・飛行機で成田へと向かう ・成田到着後 各自解散

所感

ついに帰国する日。三週間早まったの帰国は名残惜しい想いでいっぱいだった。最後に行くはずであったパーティーにも参加できず、歌の発表の機会も逃してしまったことには大変後悔の念を抱かざるを得ないのが正直な気持ちである。しかし、この三か月弱の留学で得られたことはたくさんあり、実りのある留学生活であったと振り返る。先生方は授業のため寮の前のエントランスで別れることになったが、空港には国際部の方とアレクセイが見送りに来てくれた。別れを惜しむ間もなく時間は過ぎて行き昼過ぎの飛行機で成田へと帰国した。